令和6年度 東中学校スクールプラン

~ 夢の実現を目指したスモールステップを重ねて ~

2024. 4. 1

【学校教育指標】 道はるか 夢きよく

【学校教育目標】

「豊かな人間性を持つ生徒の育成」

- ・生命の尊さを知って生活しよう ・確かな学力を進んで身につけよう
- ・たくましい体づくりに努めよう ・正しい判断力をもって行動しよう

日本国憲法 教育基本法 学校教育法 第4期教育振興基本計画

山梨県教育振興基本計画(令和6年~令和10年)

令和6年度 山梨県学校指導指針

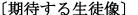
令和6年度 甲府市学校教育指導指針



〔目指す学校像〕

生徒、地域、保護者が安心し、信頼される学校 生徒が達成感を味わえる特色ある教育を推進する学校 知徳体の調和のとれた教育を推進する学校

豊かな感性を育て 文武両道を目指し 生涯にわたる人間力を育成する魅力ある学校



強い意志を持ち、個性豊かな生徒 自他を敬愛し、社会性に富む生徒 学習に意欲的に取組み、真実に生きる生徒 勤労と責任を重んじ、実行力のある生徒 正しい判断・豊かな感性をもった生徒 失敗を恐れず何事にも挑戦する自立した生徒 未来を生きるバランスのとれた生徒

〔目指す教師像〕

生徒一人ひとりの個性に応じた教育を推進し、 信頼される教師 学び続ける教師

師弟同業 実践者としての教師 謙虚な姿勢で誠実に実践を積み重ねる教師 誇りと職責の重さを自覚し研鑽に励む教師 ※生徒の小さな変化を見逃さず対応できる教師

【徹底しよう】 報告→連絡→相談 →共有→実行を!

和をもって髙め合う職員集団 どの子にも魅力ある学校

縦と横の糸を紡ぐ つながる → 結ぶ

研究主題「生き生きと学習に取り組み、確かな学力を身につけた生徒の育成」 ~ICT を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を通じて~

真摯であること (真剣で誠実)志を高く

一人で悩ませない教師集団 教師が育つ学校 情報の共有(教職員→学年主任→教頭→校長)

【確かな学力の定着】

- 基礎的・基本的な内容の確実な定着と、思考力・判断力・ 表現力を高める授業の工夫・改善に取り組む。
- 授業規律を確立する。
- 家庭学習・自主学習への取り組みの充実を促し、定期的な 分析、検討を行う。
- ・自主学習への取り組みを通し、学習習慣の確立を目指す。
- やまなしスタンダード(授業づくりの7つの視点)を意識 した取り組みを行う。
- ・特別支援教育の充実と理解、個への対応、チーム東中!
- 生徒の学習意欲を喚起する。

【豊かな人間性の確立】

- いじめのない、心豊かな環境をつくる。
- ・教師の感性を高める。 (学校・教室の環境づくりを)
- 人間関係づくりを推進する教育を実践する。
- ・教育相談活動を充実させる。
- ・生徒実態の把握に努め、情報を常に共有する。
- ・18 歳選挙権、18 歳成人等、社会への参画意識を高め、こ れからの社会をより良く生きる、バランスの取れた幅広 い見識をもたせる。
- 学級経営の充実。
- 人権教育及びSDGsに関する教育の推進。

【地域と連携した教育の推進】

- ・学校の様子を地域・保護者に公開する。
- 地域・保護者からの意見や情報を積極的に得る工夫を するとともに、学校評価を通し、教育活動に対する理 解と 協力を得る。
- 地域・保護者の教育力を積極的に活用し、キャリア教 育等、創造的な教育活動を実践し、地 域とともにある学校を目指す。
- 県や市、地域の文化を積極的に取り入 れ、連携し、教育活動を実践する。
- 外部機関とのさらなる連携。

【健康安全教育の推進】

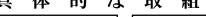
- · 令和6年度部活動指針(運動部 文化部)の提示。
- ・自転車事故等を無くす、安全教育の徹底。
- ・スマホ・タブレット等、情報機器の安全利用の徹底。
- ・健全な身体づくりと心の育成をめざし、基本的な生 活習慣を身につけさせる。
- ・防災意識を高め、中学生が果たす役割と、危機管理 意識を高める。
- ・がん教育について学習する機会を設け、将来に向け ての健康教育を進める。



- 1人1台端末、切付ボード等による小集団活動の工夫。 ICTの積極的・効果的活用による魅力的な授業の創造。
- ・学習意欲の向上を目指した、学習課題の設定、発問の工 夫、教材研究の充実。
- ・授業研究を通して、授業力の向上を目指す。
- 家庭学習の方法を検討し、定着を図る。
- 主体的・対話的で深い学びを意識し授業改善に取り組
- 主体的な学びを推進し、一斉授業からの脱却を目指す。
- ・甲府スタイルを生かした授業づくり。
- 市教委学力向上専門員との連携。

具体的な取組

- 命の大切さや思い遣る心を中心とした、道徳授業、学級 活動を実践する。
- ・自ら挨拶する、返事をする生徒を育成する。
- ・学級での話し合い活動や集団活動を充実させ、友人関係 を豊かにし、安心して何でも話せる学級づくりを目指
- 感染症の状況を的確に判断し、創造的な活動を行う。
- 環境整備、ボランティア活動に進んで取り組む生徒 を 育てる。
- 家庭との連携強化。(積極的に、早期の家庭訪問を)



指

- 地域行事への積極的参加を促す。
- 学校の様子を学級、学年、学校だより、HP等で発信。 PTA活動の中で、保護者からの意見を聞く中で、学 校改善を行っていく。
- 学区の小中学校の連携を、更に進めていく。
- ・外部ボランティアを募り、学校への協力者、理解者を 増やす。
- ・英語の小中連携事業を推進する。
- ICT 機器等を使用した、新しい連携方 法を研究する。



- 生徒自らの感染症対応への意識を高める。
- 健康安全に留意した計画的な部活動を推進する。 (週1、土日どちらかを休み→バランスを)
- スマホ・タブレット等、情報機器を使用する際の危 険性や責任等について学年・学級での講習会、指導を 行う。(道徳授業の実施)
- 学年・学級と保健室の連携を密にする。
- ·エピペン、AED の講習を行い、緊急時に生かす。
- 実際の災害を考え、課題の見える防災訓練を実施。
- 自助・共助・公助を意識した防災への取組を行う。



- 全国学力学習状況調査、全教科で平均点以上を目指す。
- 自主学習ノート提出率、90%に。
- ・毎日の家庭学習時間、学年+1時間以上を80%に。
- 英語検定受検を推奨。
- 漢字検定受検を推奨。
- 一人一実践、研究を通して互いの授業を年 2回以上見合う。
- 市教委学力向上専門員等の授業参観を行う



- いじめ0を目指す。
- 「考え、議論する道徳」を目指し、ホワイトボード等を 使った小集団活動を工夫する。
- ・読書や新聞を読む機会を増やし、今後の社会をより良く 生きる姿勢を育む。
- 一日一善を(人の為、自分の為、積み重ね)
- ·OJT 教師集団が切磋琢磨し、豊かな人間関係の中 で、高めあう。(本当の意味でのチーム学校を)
- 教育予算、法のもと、心豊かな職場づくりを目指す。



- ・学年・学校だよりを月1回発行する。
- ・全国学力学習状況調査の結果考察等を10月に公開する HPの有効活用、適宜更新する。
- ・小中連絡協議会、小中教職員合同研究会の実施。
- ・東中学校区9年間の共通目標「あいさつ 学習 思い遣り の具体的な連携実践の確認。
- ・小中校長会(年5回)、教頭会等の実施。(情報交換等)
- 学校運営協議会等の意見を積極的に聴く。

- がん教育について、授業、講演を実施する。
- ・体力テストの全ての項目で、昨年の平均以上に。
- ・情報モラルに関する授業を学期1回以上行い、1年 次には外部指導者を招聘して講義を行う。
- ・年間 30 日以上の不登校割合、昨年 7.5%を 5%に。
- ・いじめ防止基本方針の共通理解100%。
- ・不登校の原因となる学習意欲衰退の解消を、小集団 を有効に活用することで行う。
- SOSの出し方に関する授業を実施する。

豊かな感性とたくましい行動力を持ち、互いの良さを認め合いながら、進んで自己の課題に取り組むことのできる、心身共に健康な東中生の育成を目指す。